

“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

- ★最初のISS構成要素打上げから1733日経過しました
- ★第7次長期滞在クルーのISS滞在は113日経過しました

★ISS動向

第7次長期滞在クルーのルー宇宙飛行士は、来週行う予定の気泡の生成と動きに関する研究(PFMI)実験の準備を行いました。微小重量下では、金属等の材料を溶かすと内部に空気の泡がとどまり、生成物の強度が弱くなる等の現象がみられます。PFMIでは、透明な材料サンプルを使用し、泡の生じ方やその動きを研究します。

また、マレンチェンコ宇宙飛行士は、プログレス補給船(10P)からプログレス補給船(11P)へ酸素を移送しました。米国時間8月28日(木)に打ち上げられる予定のプログレス補給船(12P)のための場所を空けるために、同8月27日(水)にプログレス補給船(10P)はISSから分離される予定です。

さらに、マレンチェンコとルー両宇宙飛行士は、宇宙服の冷却システムに生じている問題解決のための作業を続けました。



エアロックの中で宇宙服を着ているルー宇宙飛行士(8月7日)



ルー宇宙飛行士の散髪を行うマレンチェンコ宇宙飛行士

“今週の「きぼう」”

★フライト実機同士の組み合わせ試験(MEIT-Ⅲ)の準備状況

米国NASAケネディ宇宙センター(KSC)の宇宙ステーション組立試験施設(SSPF)では順調に「きぼう」の船内実験室と第2結合部(ノード2)とのフライト実機組み合わせ試験(MEIT-Ⅲ)の準備が進んでいます。輸送後機能確認は全て終了し、8月に入ってからMEIT前機能確認試験を行っています。ビデオ系機器、データ伝送系の確認、及びロボットアーム操作卓の船内実験室据え付け後の確認が完了しました。

全ての準備を終えて、8月20日(水)からおおよそ1ヶ月間にわたりMEIT-Ⅲが開始されます。



船内実験室(右)とノード2(左)
(8月12日、SSPFにて)

“トピック”

★宇宙開発事業団特別展

宇宙開発に係わるNASDAの様々な活動を紹介する、「宇宙開発事業団特別展」が開催されます。

31日(日)にはお話し会「きみも宇宙飛行士をめざそう!」も開催され、宇宙飛行士になる方法や、その仕事内容についてNASDA職員がわかりやすく紹介します。

開催日 2003年8月20日(水)～31日(日) 午前10時～午後5時

開催場所 大阪サイエンス・サテライト

参加費 無料(31日(日)のお話し会のみ事前申し込み要)

お問い合わせ先

大阪市北区扇町2-1-7(扇町キッズパーク3F)サイエンス・サテライト

TEL:06-6316-8110 FAX:06-6316-8111

<http://satellite.gr.jp/event/schedule/now.html>



サイエンス・サテライト

★地球まほろば、そして未来へ……

2度の宇宙飛行を通して地球の未来への想いを語る毛利宇宙飛行士へのインタビュー映像や関連展示、クイズコーナー等、日本科学未来館ボランティアが企画したイベントが、8月最後の週に開催されます。

開催日 2003年8月25日(月)～31日(日) 午前10時～午後5時

開催場所 日本科学未来館 1階シンボルゾーン

参加費 無料(入館料のみ必要 大人 500円/18才以下 200円)

お問い合わせ先

日本科学未来館 TEL:03-3570-9151(代表) FAX:03-3570-9150

e-mail: volunteer@miraikan.jst.go.jp (担当: 井上、うしろがた)



日本科学未来館

2003年10月1日から宇宙開発事業団は独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)に移行します。

問い合わせ先: 宇宙開発事業団 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター TEL: 029-868-3074

ISS・きぼうホームページ <http://jem.tksc.nasda.go.jp/> Eメール kibo-koho@nasda.go.jp

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。